

授業科目名	公衆衛生看護学実習（学校保健）(2300413)		
時間割名	公衆衛生看護学実習（学校保健）(70239)		
時間割担当	新谷奈苗		
実施期	前期	単位数	1 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

養護教諭として、学校保健活動における役割と機能について理解する。学校における身体とこころの健康問題に対する対処方法を学ぶ。特に学齢期にある児童・生徒に対する教師のかかわりや子どもたちの心身の健康状態の実状を知るために、児童・生徒の日常生活を共にする中から学校生活の実態を把握する。また、校内の保健室実習を通して、校内環境衛生活動や保健室の機能、学校カウンセラーなど他職種との連携等について学ぶ。

学習の到達目標

1. 学校教育および学校組織のあり方と、学校組織における保健室の機能を理解する。
2. 児童・生徒の発達に理解を深め、健康生活を維持するための健康課題を学ぶ。
3. 学校における保健管理活動、安全管理活動、保健教育活動を理解する。
4. 関係機関や関係職種との連携、学校保健と地域との連携を理解する。
5. 学校における養護教諭の果たす役割・機能を理解する。

授業方法・形式

実習

授業計画

- 1) 実習施設の学校保健年間計画に沿って、実習期間中に計画されている事業に積極的に参加する。
- 2) 養護教諭に同行し、養護教諭の業務の内容、役割を学ぶ。

成績評価の基準

実習態度、実習記録、評価表等を通して総合的に行う。

授業時間外の課題

- ・実習目的・目標を理解し、実習期間中に達成可能な個人の实習目標をたてる。
- ・学校保健の講義で学習した内容について復習を行う。
- ・実習先の学校の特徴等、情報をホームページやパンフレットを活用し把握しておく。
- ・実習先の学校の場所や交通手段を各自で調べておく。
- ・実習期間中に行われる事業について、あらかじめ情報を得ておく必要があるものは、教員より入手し把握しておく。

メッセージ

教材・教科書

新訂版 学校保健実務必携(第3次改訂版) 第一法規株式会社
 国民衛生の動向 2015/2016 厚生労働統計協会
 公衆衛生看護学.jp 第4版 インターメディカル

参考書

- 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 医学書院
 標準保健師講座 2 対象別公衆衛生看護活動 医学書院
 標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院